

平川市・・・台中市（台湾）

Taichung,Taiwan

1 提携年月日

平成28年12月14日（青森県・平川市・台中市友好交流に関する協定書締結の日）

2 台中市の概況

台中市は、面積2,214km²、人口約281万人の台湾第二の大都市。現在、台中ソフトウェア工業団地の建設などが進められており、台湾中部の商工業の中心となっている。

世界的にも有名な自転車メーカーGIANTの本社もあり、サイクリングが盛んな地域である。また、彰化縣に隣接する南部、南投縣に隣接する東部は農業も盛ん。

年平均気温23度、年間降水量1,700mmと四季を通して温暖な気候に恵まれ、「台湾の人が住みたい都市ナンバー1」に選ばれている。多くの富裕層が暮らす賑わいのあるまちである。

3 友好交流締結までの経緯

国際交流の取組を活性化しようとしている台中市が、新たな交流相手を検討する中で、台中市と自然環境が大きく異なり、また、りんごの輸出などを通して台湾との結び付きが強い青森県に対して交流を提案。

これを受けた青森県は、台湾からのファームステイ受入や観光客の宿泊実績があり、祭りや温泉などの観光資源を活かした連携が見込まれるとして当市に参加を提案、以降交流の発展について、県と共に検討していくこととなった。

平成27年12月、長尾市長が三村知事の訪台に一部同行し、台中市林市長を表敬訪問。懇談を通して、林市長が青森県との交流に意欲的であることが感じられた。また、当市をファームステイで訪れたことのある僑光科技大学を訪問したところ、同大学で毎年実施している農家体験交流訪問団の行程に当市を組み入れてもらえることになったほか、観光専攻学生のインターンシップの受け入れについても要望があった。

これらのことから、台中市との交流人口の拡大などを通じて、経済交流の発展に高い将来性を感じ、一層の交流を図るため友好交流締結に至った。

4 交流の現状

友好協定締結後の交流では、平成29年2月に行われた「台中市ランタンフェスティバル」に参加。ステージ上で平川女子囃子組がねふた囃子のパフォーマンスを披露したほか、当市のPR動画を放映しプロモーションを行った。

また、台中市に拠点のある台湾教育旅行連盟を訪問し、台湾全土からのファームステイ受入れの誘致活動を行い、平成29年5月には彰化縣から彰化女子高級中学校の生徒64

名を受入れた。

平成29年8月には、東奥日報主催の青森・台湾チャーター便を利用し、青森県関係者14名、平川市長はじめ平川市議、市内企業等16名の合計30名がミッション団として参加した。その中で、台中市林市長へ表敬訪問し、台中市・青森県・平川市の交流人口増加について意見交換を行った。

平成30年2月に「台中ランタンフェスティバル」に2回目の参加。当市のPRねぶたを出展・展示し、平川女子囃子組のねぶた囃子演奏とともに、台湾のネットニュースなどに大きく取り上げられた。

平成31年2月に行われた「台中ランタンフェスティバル」へ3回目の参加。現地でねぶた絵の張替えを行い、前年とは異なる絵柄のねぶたを出展・展示した。加えて平川女子囃子組のねぶた囃子演奏も実演し、会場を沸かせるとともに現地メディアにも大きく取り上げられた。

令和2年2月に行われた「台中ランタンフェスティバル」へ4回目の参加。当市のPRねぶたを出展・展示するとともに、観光パンフレットやねぶたグッズ等を配布しプロモーションを行った。

令和3年については、新型コロナウイルス感染症の影響により交流実績なし。

令和4年2月、「台中ランタンフェスティバル」参加の代替として、台中市民向けメッセージ動画を制作し、台中ランタンフェスティバル会場及び、台中市新庁舎屋外にて動画を放映した。

令和5年8月、台中市政府局長及び温泉観光協会理事長らが当市を訪問。市内観光施設の視察のほか、平川ねぶたまつりの参加・観覧を行った。

令和6年2月、「台中ランタンフェスティバル」に参加し、映像による平川ねぶたの説明に合わせ、ねぶた囃子を披露した。

5 交流の主な動き

平成20年10月	ファームステイ（修平技術学院：台中市）
21年10月	ファームステイ（僑光科技大学：台中市）
10月	ファームステイ（中鋼公司写真部：高雄市製鉄会社）
24年10月	ファームステイ（興国高級中学校：台南市）
25年10月	ファームステイ（華盛頓高級中学校：台中市）
11月	ファームステイ（彰化女子高級中学校：彰化縣）
12月	ファームステイ（興国高級中学校：台南市）
26年10月	ファームステイ（華盛頓高級中学校：台中市）
27年 1月	ファームステイ（彰化女子高級中学校：彰化縣）
11月	県より台湾台中市との交流提案
11月	ファームステイ（新店高級中学校：新北市）
12月	県知事、平川市長台湾台中市を訪問
28年 5月	県知事、平川市長台湾台中市を訪問

※平成20年から27年までファームステイを受入れてきた実績が評価され、27年11月、県から交流の提案があった。

- 9月 台中僑光科技大学青森教育旅行
- 10月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 11月 台中市観光旅遊局長来訪
- 11月 平川市副市長台湾台中市を訪問
- 12月 県知事、平川市長台湾台中市を訪問し「青森県・平川市・台中市友好交流に関する協定」を締結
- 12月 台中僑光科技大学と「官学交流連携協定書」を締結
- 29年 2月 平川市長、平川女子囃子組、県職員と平川市職員がPRのため台中市ランタンフェスティバルに参加
- 3月 台湾インフルエンサー視察団来訪
- 4月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 5月 ファームステイ（彰化女子高級中学校：彰化縣）
- 7月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 8月 県副知事を団長に、平川市長、市議団、市内企業等が東奥日報主催青森・台湾チャーター便にミッション団として参加
- 9月 台中市温泉観光協会来訪
- 9月 僑光科技大学関係者来訪
- 10月 ファームステイ（華盛頓高級中学校：台中市）
- 11月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 30年 2月 平川市長、平川女子囃子組、県職員と平川市職員がPRのため台中市ランタンフェスティバルに参加（2回目）PRねふたを出展
- 3月 PRねふたの移送・保管に係る作業・打合せのため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 6月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 9月 僑光科技大学関係者来訪
- 10月 台中市温泉観光協会来訪
- 10月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
その他、台中市温泉祭りへ参加しPRを実施
- 11月 「台中宣言」出席及び「世界花博 in 台中」視察のため、副市長、県職員、平川市職員で台湾台中市を訪問
- 31年 2月 平川市長、平川女子囃子組、県職員と平川市職員がPRのため台中市ランタンフェスティバルに参加（3回目）PRねふたを出展
- 令和元年 5月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問
- 8月 台中市温泉観光協会来訪
- 9月 僑光科技大学関係者来訪
- 9月 県職員と平川市職員、市内観光事業者が台中市サイクリングフェスティバルに参加しPRを実施
- 12月 事務レベル協議のため、県職員と平川市職員で台湾台中市を訪問

- 令和２年 ２月 平川市副市長、県職員と平川市職員がＰＲのため台中市ランタンフェスティバルに参加（４回目）ＰＲねふたを出展
- 令和４年 ２月 台中市民向けのメッセージ動画を制作し、台中ランタンフェスティバル会場及び台中市新庁舎屋外にて放映
- 令和５年 ６月 県職員と市職員で台中市政府へ訪問し、今年度の交流事業について打合せを行った。
- ６月 台中市温泉協会関係者がプライベートで国内旅行した。アップルランドでの夕食会の際、平川市長の挨拶を行った。
- ８月 台中市政府局長及び温泉観光協会理事長などが来訪された際、平川市長の表敬訪問を行った。また、市内施設の視察（猿賀神社・公園、クレイジーサイダー工場見学）及びねふたまつりの参加・観覧を行った。
- １０月 平川市副市長、県職員と市職員で台中市温泉祭へ参加した。
台中市政府の他、谷関温泉へも訪問した。
- １０月 期限付きで青森台北間の直行便が再開した。再開に併せ、青森県主催でお出迎え対応を行った。（平川市は２日間参加）
- １１月 弘前市が平成２３年度から台湾の大手百貨店「遠東百貨」で実施している「日本青森県弘前市文化物産フェア」（台中市を含む台湾５都市で開催）へ参加した。
- 令和６年 １月 台中市のバスケットボールＵ１５チームがドリームアリーナで合宿を行う。
- ２月 平川市長、県職員と市職員、青森銀行平川支店長にて「台中ランタンフェスティバル」に参加した。映像による平川ねふたの説明に合わせて、ねふた囃子を披露した。
併せて、台中大遠百へ表敬訪問を行った。
- ９月 県職員、県温泉協会、市職員及び市内事業者で台中市温泉祭に参加した。台中市政府と交流に係る打合せをしたほか、同行事業者による台湾旅行業者へのＰＲを行った。
- １０月 エバー航空の台湾と青森県の直行便再開に伴い、チャーター便及び定期便発便到着時のお出迎え対応を行った。
- １１月 弘前市が平成２３年度から実施している「日本青森県弘前市文化物産フェア」（台中市を含む台湾５都市で開催）へ参加（２回目）し、市内から４事業者が出品・販売した。